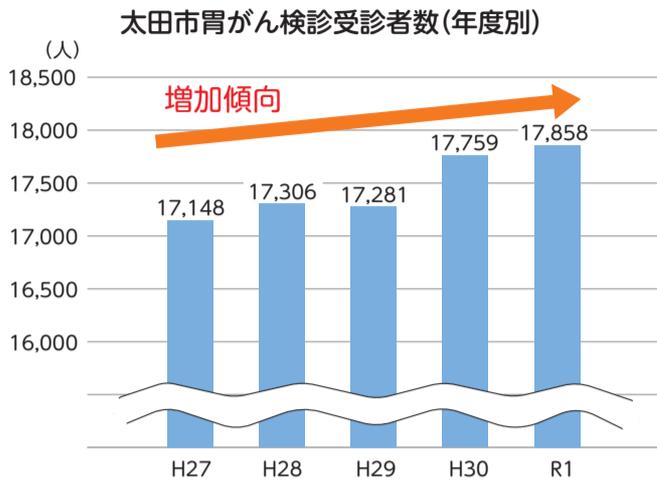


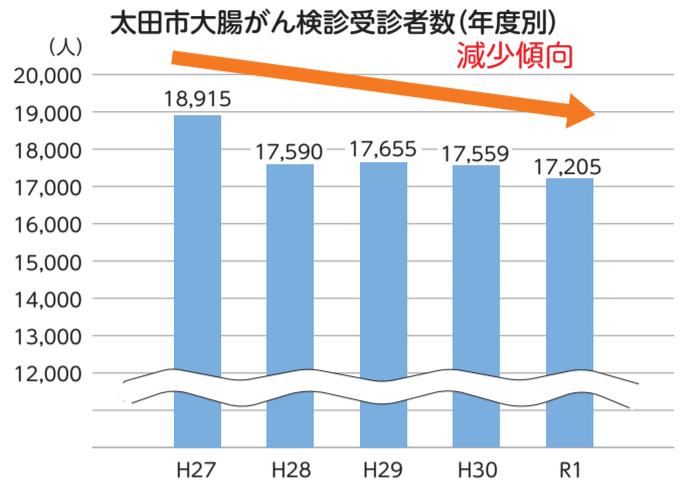
検診の紹介

胃がん検診 早く見つけて治療すれば90%以上が治ります



50歳以上で特にかかりやすく、初期は自覚症状もなく自分では気づきにくいがんです。早期発見すれば、内視鏡切除が可能です。

大腸がん検診 女性のがん部位別死亡数第1位

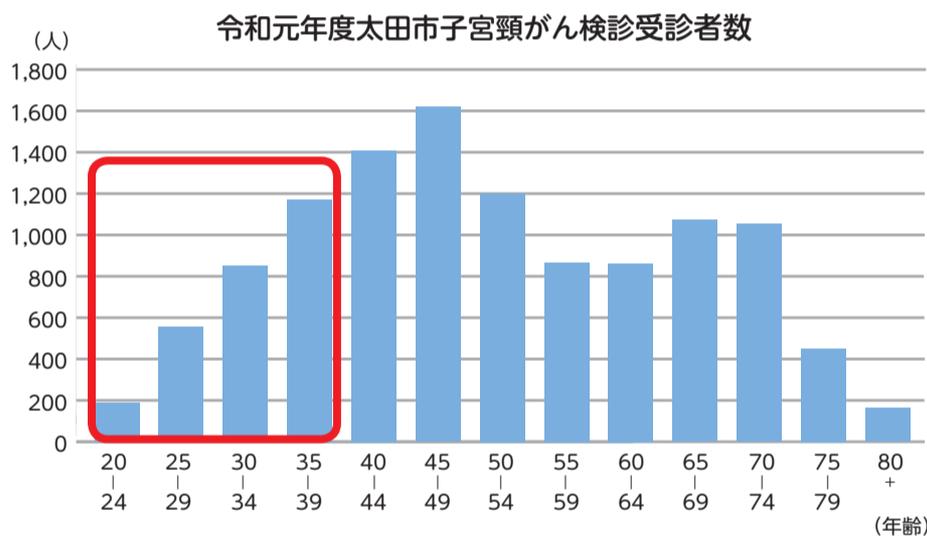


自覚症状がほとんどないため、1年に1回検診を受けることが大切です。検診は便をとって提出するだけで、痛みも食事制限もありません。

子宮頸がん検診 20~30代で急増するがん

近年、39歳以下の日本人女性で、子宮頸がんの罹患や死亡が増えています。女性なら誰でもかかる可能性のある病気です。

出産の多い年齢での罹患率が高く、初期の段階では、ほとんど自覚症状がありません。



本年度より、子宮頸がん検診(集団検診)全日程で診察時にお子さまをお預かりします(要予約)。

乳がん検診 女性の9人に1人がかかります

日本人女性が最も多くかかる「がん」です。乳がんは40代から60代に多いがんです。検診の対象は40歳以上で、検診の受診間隔は2年に1度です。これは、がんの発見率などから検証した結果で、国の指針として示されています。検診を受ける以外で乳がんの早期発見のために大切なことは、月に1度のセルフチェックです。日ごろから、自分の乳房がどのような状態かを知っておきましょう。

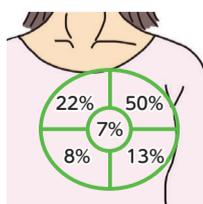
セルフチェックの方法

- 乳房の左右差・変形・くぼみ・ひきつれ・湿疹・ただれがないか見て確認
 - 異常な分泌物・しこりがないか触って確認
- 異常があった場合は、医療機関を受診しましょう。

乳がんのできやすいところ

乳がんのできやすい部位を右図で確認しましょう。

外側上方、内側上方が多いですが、脇の下や鎖骨周辺にできるものもあります。



群馬県がん登録資料

肺がん検診 男性のがん部位別死亡数第1位

年間7万人以上が肺がんで命を落としています(平成30年)

たばこを吸わない人に比べて、吸う人は男性で約4倍、女性では約3倍肺がんになりやすく、吸う年数、本数が多いほど肺がんになりやすいという研究結果が出ています。

たばこは喫煙者本人のみならず、周りの人の肺がんリスクもあげてしまいます。禁煙によって自分と周りの人の健康を守りましょう。

年齢や性別により、対象となる検診が異なります。集団検診の日程など、詳しい情報は必ず封筒を開けて確認してください! 市のホームページにも掲載されています。

